クイックスタートガイド



PRESTIGE GR STIRLING GR-OW

2 Way Floorstanding 10" Dual Concentric
HiFi Loudspeaker (Oiled Walnut)

JP

JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。

2. これらの指示を守ってください。

3. すべての警告に注意してください。

4. すべての指示に従ってください。

5. この装置を水の近くで使用しないでください。

6. 乾いた布でのみ拭いてください。

7. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。

8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置 (アンプを含む) などの熱源の近くに設置しないでください。

9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



10. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



11. この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE 指令 (2012/19 / EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。

13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

JP

前書き

音楽は、その最も純粋な本質を即座に損なう可能性のあるわずかな色合いなしに、その美しさ、細部、ニュアンスのすべてを体験する必要がある芸術形式です。本当に素晴らしいスピーカーデザインにより、スピーカーシステムはサウンドスケープからそれ自体を取り除き、ライブパフォーマンスと同じようにあなたを包み込むような方法で音楽を提示することができます。1970 年代、Tannoy はさまざまなモニターを作成し、スタジオエンジニアとオーディオファンが高品質のオーディオを体験する方法を一変させました。Tannoy HPD シリーズは、すぐに史上最も愛されている Hi-Fi スピーカーの 1 つになりました。

STIRLING Dual Concentric Hi-Fi Loudspeaker は、その前身へのオマージュではなく、当時は利用できなかった新しい高級ドライバーとコンポーネントの実装により、Tannoy HPD の優れた透過性能の伝統をさらに高めています。簡単に言えば、STIRLING は伝説的な HPD パフォーマンスを新世代の音楽愛好家に提供します。

JP

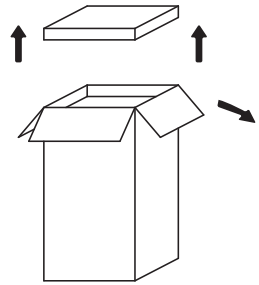
開梱

すべての梱包材を調べ、カートンに外部損傷の兆候がないか調べます。パッケージに過度の損傷があり、スピーカーに損傷が生じている証拠がある場合は、すぐに運送業者とサプライヤーに連絡してください。このような状況では、その後の検査のために常に梱包を保管してください。

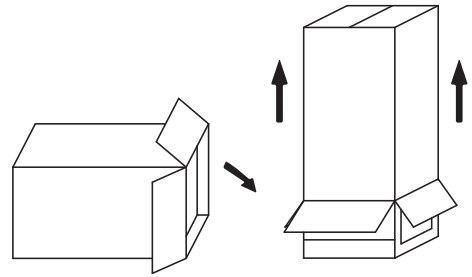
次のように、スピーカーのペアのアクセサリパックの内容を確認します。

- バイワイヤーリンク (x4)
- カーペットスパイク (x8)
- ウッドワックスの缶 (x1)
- 調節可能な足 (x8)
- ウェルカムパックのドキュメント

カートンの底を緩めます。端の葉を邪魔にならないように折り、4 つの角のパッキングピースを取り外して、スピーカーキャビネットの台座と底を露出させます。カートンからアクセサリパックを見つけて慎重に取り外します。



カートンとスピーカーを裏返し、キャビネットがカートン内の床に立つようにします。カートンを上に持ち上げて、スピーカーを表示します。



ポジショニング

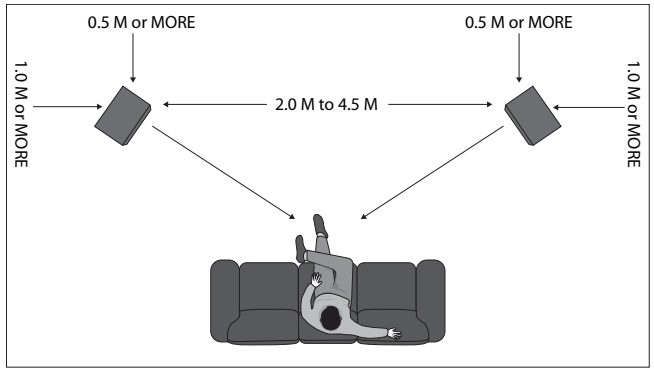
お気に入りのリスニング位置がキャビネットの軸から約 15° になるようにスピーカーを配置します。両方のキャビネットの軸は、リスニング位置の少し前のポイントで交差する必要があります。スピーカーが壁やコーナーに近接していると、サウンドに影響することに注意してください。ステレオ画像の奥行きと低周波の音質を微調整するには、おそらくいくつかの実験が必要になります。壁の位置や部屋の角に近いと、非常に低い周波数の音響エネルギーが増加する効果があります。隣接する反射壁は、不要な反射を引き起こしてステレオイメージを混乱させる可能性があります。

最高の音響性能を体験し、その卓越したステレオ画像深度機能を完全に実現するには、スピーカーは、理想的には、側壁または反射面から少なくとも 1 m 、後壁から少なくとも 0.5 m 離れた場所で使用する必要があります。

スピーカーのベースには、安定性を最大限に高めるダウンスパイク用のインサートが用意されています。付属のスパイクはスピーカーのベースにねじ込む必要があります。スピーカーが直立した位置に設置されている場合、スパイクはカーペットの織りの間を通過して、下の床に接触する必要があります。

スパイクを調整して安定性を最大にし、ロックナットをしっかりと締めますが、過度の力を加えないでください。

磨かれた木の床やその他の繊細な表面には、スパイクの下に配置するための金属製のカップが用意されています。



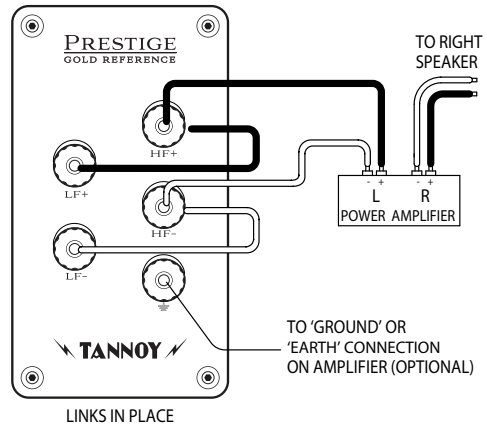
JP

接続

このマニュアルの製品仕様のセクションを参照してください。これは、スピーカーに適合するアンプの許容電力範囲を明確に示しています。すべてのスピーカーシステムと同様に、電力処理はボイスコイルの熱容量の関数です。アンプをオーバードライブしないように注意する必要があります。これにより、出力過負荷が発生し、出力信号内で「クリッピング」または歪みが発生します。これを長期間行うと、スピーカーが損傷する可能性があります。一般に、ハードに動作しているが歪みのない高出力のアンプは、低出力のアンプが継続的にクリッピングするよりも、スピーカーに損傷を与えるリスクが少なくなります。また、出力電力の 90% 未満で動作する高出力アンプは、一般に、100% を達成するのに苦労している低出力の例よりもはるかに優れていることを覚えておいてください。

予算内で入手可能な最高品質のケーブルを常に使用してください。アンプからスピーカーに渡される高品質のオーディオ信号は、ケーブルへの要求において珍しいものです。広いダイナミックレンジと広い帯域幅の情報は、損失や信号障害を発生させることなく、少なくとも 10 アンペアのピーク電流を送信する機能と共存する必要があります。各スピーカーのケーブルは常に同じ長さにすることをお勧めします。ケーブルの構造が音質に影響を与える可能性があることを忘れないでください。耳とオーディオシステムに適したケーブルを見つけるために実験する準備をしてください。

単線モード



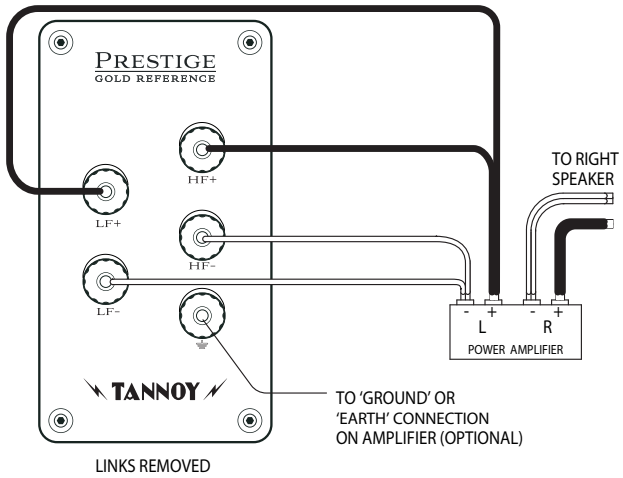
まず、アクセサリパックに含まれているリンクを使用して、HF+ 端子を LF+ 端子に、HF- 端子を LF- 端子にリンクします。アンプの左チャンネルの正（プラス）端子（+または赤でマーク）は、左スピーカーの正の HF 端子に接続する必要があります。左のスピーカーは、リスニングポジションからステレオペアを見たときの左側のスピーカーです。アンプの左チャンネルの負（マイナス）端子（-または黒でマーク）は、左スピーカーの負の HF 端子に接続する必要があります。

右側のスピーカーに対してこの接続プロセスを繰り返します。アンプのプラス（+ または赤）はスピーカーのプラス（+ または赤）に接続し、マイナス（-または黒）はマイナスに接続する必要があることに注意してください。CD プレーヤーなどの信号源を選択し、アンプのスイッチを入れ、ボリュームコントロールをゆっくりと上げて、両方のスピーカーが低音と高音の情報を再生していることを確認します。

アース接続：

パフォーマンスをさらに最適化するには、不要な無線周波数干渉を減らすために、シールドまたはスクリーン付きスピーカーケーブルを使用します。スクリーニング終端は、スピーカーのアースまたはアース（白）端子とアンプのアースまたはアース接続に接続する必要があります。または、スクリーン付きスピーカーケーブルを使用していないが、アース設備を利用したい場合は、スピーカーとアンプのアース端子の間に 1 本のケーブルを配線します。

バイワイヤーモード



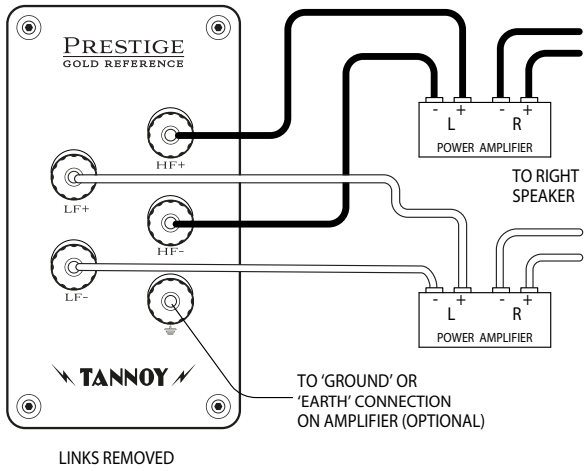
バイワイヤモードでは、リンクケーブルを使用しないでください。特別に設計されたバイワイヤースピーカーケーブルを使用すると、最良の結果が得られます。

アンプに 2 セットの出力端子が装備されていない場合は、ケーブルのアンプ側で左 LF +（正）と左 HF +（正）を一緒にねじります。これらをアンプの左チャンネルのプラス端子に接続します。+(プラス) または赤色でマークされています。左側の LF-（マイナス）ケーブルと HF-（マイナス）ケーブルを一緒にねじり、-(マイナス) または黒色のマークが付いたアンプの左側チャンネルのマイナス端子に接続します。

スピーカーの端で、Left LF + および Left LF- というラベルの付いたケーブルを左側のスピーカー LF 端子に接続し、ケーブルシースの極性マークに注意してください。次に、左 HF + と左 HF- を同じスピーカーの HF 端子に接続します。

このプロセスを繰り返して、右側のスピーカーをアンプの右側のチャンネル出力に接続し、極性が全体を通して正しいことをもう一度確認します。

バイアンプモード



JP

バイアンプは、バイワイヤリングの原理をさらに 1 段階拡張します。この接続オプションでは、各スピーカーの低音信号と高音信号に別々のパワーアンプが使用zsされます。スピーカーのステレオペアには、同じタイプの 4 つのモノラル (または 2 つのステレオ) アンプが必要です。

2 つのステレオアンプを使用する場合は、一方のアンプが左右のスピーカーに低音情報を提供し、もう一方のアンプが高音情報を提供することをお勧めします。端子台にリンクケーブルを使用しないことが重要です。使用しないと、アンプが損傷する可能性があります。

高音調整

各スピーカーには、取り外し可能なグリルの下のフロントバッフルにある 2 つのコントロールが取り付けられています。これらの大電流スイッチブロックには、ROLL OFF および ENERGY というラベルが付いています。これらは、リスニングルームのさまざまな音響特性を補正するために使用できます。コントロールは、アンプのトーンコントロールが「フラット」または補正されていない位置にある状態で調整する必要があります。各スピーカーは個別に調整する必要があります。アンプのバランスコントロールを回転させて、最初に 1 つのスピーカーを選択し、次にもう 1 つのスピーカーを選択すると、これを最も簡単に実現できます。

エネルギー制御には 5 つの位置があります。これにより、高周波圧縮ドライブユニットの出力を、約 1 kHz から 27 kHz の周波数帯域で線形または「フラット」位置から増減できます。ロールオフコントロールには 5 つの位置（オクターブあたり +2、レベル、-2、-4、および -6 dB）があり、5 kHz から 30 kHz までの極端な高周波で調整を提供します。

エネルギー制御には棚効果がありますが、ロールオフ制御は極端な高周波応答の傾きを増減させます。スピーカーからの最もフラットで最も線形な応答は、両方のコントロールを LEVEL 位置に設定すると得られます。この位置は、最初のリスニングテストに使用する必要があります。高周波音の全体的な品質があまりにも目立つように思われる場合は、エネルギー制御の –1.5 または –3 の位置を試してください。高音域で音が落ち着いているように見える場合は、+1.5 または +3 の設定をお勧めします。エネルギー制御設定が確立されると、ロールオフ制御を調整して、必要に応じて極端な高周波成分を減少またはわずかに増加させることができます。

いずれかのコントロールをある位置から別の位置に移動することによって行うことができる変更は微妙であることを忘れないでください。検討中の周波数帯のコンテンツがプログラム素材にほとんど含まれていないと、聞き取りにくい場合があります。フルスペクトルのサウンドを備えたバランスの取れた曲を選択してください。スピーカーがはっきりと見えなくなり、演奏だけが聞こえると、正しい設定が見つかります。

キャビネットケア

キャビネットは、厳選された堅い堅材のモールディングと一致する本物の木製のベニヤを利用して、厳格な基準に仕上げられています。木材は、乾いた布で、またはアクセサリパックで提供される専門のタンノイワックスなどの高品質の非シリコーン家具研磨剤を軽く塗布してのみ洗浄する必要があります。グリルクロスやラッカー仕上げのフロントバッフルを磨かないように注意してください。

すべての無垢材の家具に共通して、極端な熱、寒さ、さまざまな湿度にさらされると、木材がわずかに落ち着きます。したがって、このような事態を防ぐために、スピーカーを極端な環境から保護することをお勧めします。木材は、周囲光の紫外線にさらされると色が変わり、時間の経過とともに乾燥するため、定期的に提供されるワックスを木材に「供給する」必要があります。

グリルの取り外し

グリルには、音響的に透明な特殊な布を使用しています。ただし、究極の忠実度を得るには、熱狂者は、リスニング中にグリルを取り外した状態でこれらのスピーカーを使用するのが最善であることに気付くでしょう。フロントパネルのコントロールにアクセスするには、グリルの取り外しも必要です。

技術仕様

システム	
周波数応答[1]	39 Hz-46 kHz (-6 dB)
推奨アンプパワー	20 ～ 170 W RMS
パワーハンドリング (IEC)	85 W 連続、340 W ピーク
公称分散	90 度の円錐形
感度[2]	91 dB (1 W @ 1 m)
インピーダンス	8 Ω
最大 SPL[2]	110 dB 連続、116 dB ピーク
コンポーネント	
低周波デュアル同心円	254 mm (10")、ツインロール含浸ファブリックサラウンドを備えた紙パルプコーン、42 mm (1.65") エッジ巻きボイスコイル
高周波デュアル同心円	25 mm (1") アルミニウム/マグネシウム合金ドーム、エッジ巻きボイスコイル付き
クロスオーバー	
周波数	1.8 kHz
タイプ	バイワイヤード、ハードワイヤードパッシブ、低損失 2 次ローパス、 2 次ハイパス
調整	1.8 kHz ～ 46 kHz のシェルフで ±3 dB
エンクロージャー	
タイプ	デュアル分散ポート
コネクタ	5 x 4 mm 24 ct Tannoy カスタマイズバインディングポスト
寸法 (HWD)	850 x 397 x 368 mm (33.5 x 15.6 x 14.5")
正味重量	29 kg (63.8 lbs)
建設	19 mm (¾") MDF、合板内部ブレース、大幅に減衰
終了	ウォールナット単板と高吸音ナイロングリルカバー
アクセサリーパック（付属）	
	バイワイヤーブリッジコネクタ プレステージウッドワックス カーペットプロテクター 調節可能な足 ウェルカムパックのドキュメント

[1] 軸上 1 メートルで測定された、指定された帯域幅全体の平均。
[2] 半空間で 1 メートルで測定された重み付けされていないピンクノイズ入力。

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。